

子供たちに伝えたい日本のよさ

※タイトルの色は「江戸紫」をイメージしました。「伊勢物語」で詠まれた短歌によって、ムラサキグサが武蔵野のシンボルとなり、青みの強い新しい紫色を生み出して名づけられました。

葛飾 北斎



富嶽三十六景「神奈川冲浪裏」提供 墨田区

この絵から何を感じますか？

この絵は、江戸時代の浮世絵師 葛飾 北斎（1760～1849年）が描いた「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」という作品です。

この作品は、版画として数多く刷られました。その一部は海外にも伝わり、「グレート・ウェーブ」と呼ばれ、世界中の多くの芸術家に影響を与えています。フランスの作曲家 クロード・ドビュッシー（1862～1918年）も、自身が作曲した交響詩「海」の楽譜（1905年出版）の表紙に使用しました。

今月のテーマ —世界の北斎—

～ヨーロッパの芸術家に大きな影響を与えた北斎～

1859年、日本がヨーロッパ諸国との通商を始めると、フランスでは浮世絵版画を収集する人たちが現れました。そのきっかけは、日本から磁器を輸送する際に詰め物として使われていた『北斎漫画』を目にしたことだったという話が残っています。

1867年にパリで開催された万国博覧会では、数多くの日本の美術工芸品とともに浮世絵が紹介され、北斎の作品も大きな注目を集めました。



その後、数多くの北斎の作品がヨーロッパに伝わり、従来のヨーロッパの絵画には見られなかった大胆な構図や明るい色彩などの魅力に、多くの芸術家の心がひきつけられました。



北斎の絵に影響を受けた画家として、フィンセント・ファン・ゴッホ（1853～1890年 オランダ）、エドガー・ドガ（1834～1917年 フランス）、アンリ・リヴィエール（1864～1951年 フランス）などがいます。

また、『北斎漫画』の鯉を図案に取り入れた、ガラス工芸家のエミール・ガレ（1846～1904年 フランス）の花瓶も有名です。

ヨーロッパの芸術家に大きな影響を与えた北斎は、1960年には、ウィーンで開催された世界平和評議会の席上において、世界の文化巨匠として顕彰されました。

1999年には、アメリカの雑誌『ライフ』で「この1000年でもっとも偉大な業績を残した100人」として、日本人でただ一人選ばれました。

※『北斎漫画』は、初編が1814年に出版された絵手本集です。「漫画」とは現在のコミックの意味ではなく、「気の向くままに描いたスケッチ」のような意味だと考えられています。絵柄の総数は3900余にも及び、欧米では「ホクサイ・スケッチ」の名で親しまれ、フランスの印象派運動に大きな影響を与えたことでも知られています。

協力：すみだ北斎美術館（現在建設中、平成28年開館予定）

東京都にゆかりのある人物

【由利公正（ゆり きみまさ）】★東京府知事（1871年9月～1872年7月）★

由利公正は、福井藩士であり、安政元（1854）年から品川台場の築造に従事していました。江戸幕府の大政奉還後、土佐藩の福岡孝弟とともに、「五箇条の御誓文」の原案作成に携わりました。

東京府知事であった明治5（1872）年2月、皇居外苑付近の旧会津藩邸から出火した火事は、銀座一帯を焼き尽くしました。これを機に、由利公正が、不燃性の都市を建設することを主張したことにより、銀座煉瓦街が誕生しました。当時の街路照明には、ガス灯が用いられました。

この政策は、火事の多かった東京への対策であるとともに、銀座を文明開化の象徴とする意図もありました。

都内には、由利公正に関わる史跡等があります。是非、訪ねてみてください。

【関連史跡等】

- 煉瓦銀座之碑：由利公正の功績をたたえて造られた碑（中央区の史跡）

【住 所】中央区銀座1-11-2

【最寄駅】東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅

- 由利公正の墓：品川区の指定文化財（海晏寺）

【住 所】品川区南品川5-16-22

【最寄駅】京浜急行線 青物横丁駅

- 「銀座煉瓦街」模型等：江戸東京博物館の常設展

【住 所】墨田区横網1-4-1

【最寄駅】JR 総武線 両国駅又は都営地下鉄大江戸線 両国駅

- ガスミュージアム：文明開化のシンボル・ガス灯とその時代に描かれた錦絵等の展示

【住 所】小平市大沼町4-31-25

【最寄駅】西武新宿線 花小金井駅

（「花小金井駅入口より」バス停より西武バス利用
「ガスミュージアム入口」にて下車）



特色ある取組

【渋谷区立松濤中学校】

「盆踊り・浴衣着付け体験」

地域と連携しながら、日本の伝統・文化に関する教育を進めています。



体験

家庭科の「和服の基本的な着装指導」において、着付けの専門家を外部講師として招き、浴衣の着付けを体験的に学んでいます。

習得

地域の方々から盆踊りを学び、動きや作法等を習得しています。

発信

学習の成果として、毎年6月に実施されるミクロネシア交流会で日本の伝統・文化として、浴衣や盆踊りを披露しています。

伝統・文化に関するイベント等

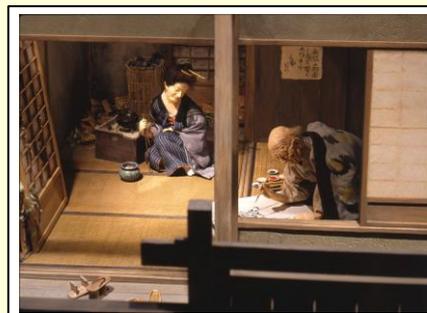
★東京都江戸東京博物館（EDO-TOKYO MUSEUM）

江戸・東京の歴史や文化、生活を体感できる博物館です。

常設展示室には、江戸時代の「日本橋」「芝居小屋」を実物大で再現した迫力ある大型模型とあわせて、葛飾北斎が絵を描いている場面を再現した「北斎の画室」のジオラマがあります。世界的な評価が高い作品が生み出された様子を、是非一度御覧ください。

また、明治時代の「鹿鳴館」や「銀座煉瓦街」の様子を再現した模型など、当時の様子を立体的に展示しています。さらに、浮世絵や着物、生活道具なども豊富に展示しており、楽しみながら江戸・東京の歴史を学べます。

2015年3月に常設展示室をリニューアルし、「幕末の江戸城 一本丸・二ノ丸御殿」や「ひばりが丘団地」など新しい展示や模型が加わりました。



「北斎の画室」のジオラマ

【住所】墨田区横網 1-4-1 【電話】03-3626-9974

【ホームページ】<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>

【開館時間】午前9時30分～午後5時30分（土曜日は午後7時30分まで）

※入館は閉館時刻の30分前まで

【最寄駅】JR 総武線 両国駅 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線 両国駅 徒歩1分

【料金（常設展示室）】一般600円、学生480円 65歳以上・高校生・中学生（都外）300円
中学生（都内）・小学生・未就学児 無料 ※特別展は別途料金がかかります。

★都立多摩図書館

都立多摩図書館では、由利公正に関連する本を借りることができます。

●由利公正が主人公の小説

- 『鹿鳴館の肖像』東秀紀著（新人物往来社 1996）

収録されている四つの作品のうち、『^{けいそう}軽躁の気味あり』は、由利公正を主人公とした小説です。また、由利公正も関わった銀座煉瓦街の町づくりについて描かれている『銀座煉瓦街始末』もあります。【都立図書館請求記号：9136/10588/96】

- 『^{けいりん}経綸のとき 小説三岡八郎』尾崎護著（東洋経済新報社 1995）

500ページ近くある長大な由利公正の伝記小説です。

【都立図書館請求記号：9136/9828/95】

●銀座煉瓦街の歴史に触れる本

- 『東京都の歴史散歩 上 下町』東京都歴史教育研究会編（山川出版社 2005）

銀座の歴史を訪ねる項には、由利公正の^{きこう}揮毫による「煉瓦銀座の碑」のカラー写真が掲載されています。【都立図書館請求記号：291.36/5097/1】

- 『東京都中央区 日本橋・銀座の400年』竹内誠監修（ミヤオパブリッシング 2013）

日本橋、銀座の文化や名所、暮らし等を錦絵や写真でたどる本。明治の銀座^{れんが}煉瓦街を描いた錦絵がカラーで掲載されています。【都立図書館請求記号：D213.6/5214/2013】

都立多摩図書館 【住所】立川市錦町 6-3-1 【電話】042-524-7186

【開館時間】月～金：午前10時～午後9時 土日祝休日：午前10時～午後5時30分

【最寄駅】JR 南武線 西国立駅 徒歩10分

【ホームページ】http://www.library.metro.tokyo.jp/guide/tama_library/tabid/1407/Default.aspx

★都立中央図書館

- 企画展示「アナタは何からできている?—健康なからだへのみちしるべ—」

【期間】平成27年11月28日(土)から平成28年1月20日(水)まで

【場所】企画展示室(4階) 入場無料

【内容】日本は世界でも有数の長寿国となりましたが、健康で生き生きとあり続けるには、どのような生活を送るべきなのでしょう。

本展示では「人体」「運動」「食」の三つの視点から、健康づくりへの理解と関心を高め、生活習慣の改善に役立つ資料を紹介し、『レオナルド・ダ・ヴィンチ解剖手稿』や『養生訓』といった、当館ならではの貴重な資料も展示します。

あわせて、関連イベントも実施します。詳細は、都立図書館のホームページ(<http://www.library.metro.tokyo.jp/>)を御覧ください。



- ミニ展示—2020年へ向けての応援シリーズ「ボスニア・ヘルツェゴビナ」

【期間】平成27年12月2日(水)まで 開催中

【場所】人文・科学系資料・閲覧室入口(3階)

【内容】都立中央図書館から半径800m圏内に大使館・領事館がある24か国を、図書館所蔵資料を通じて順番に御紹介しています。第2回目は、アルファベットの“B”、ボスニア・ヘルツェゴビナ(Bosnia and Herzegovina)です。歴史や観光、文化のほか、ボスニア・ヘルツェゴビナ出身の4人の有名人に関する資料を御紹介しています。

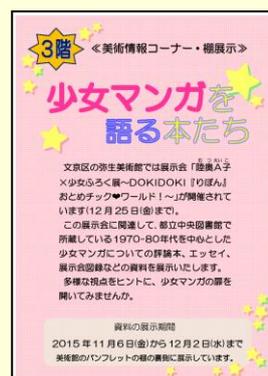


- 美術展関連・棚展示「少女マンガを語る本たち」

【期間】平成27年11月6日(金)から12月2日(水)まで

【場所】人文・科学系資料・閲覧室 美術情報コーナー(3階)

【内容】文京区弥生美術館で、12月25日(金)まで開催中の「陸奥A子×少女ひろく展～DOKIDOKI『りぼん』おとめチック♥ワールド!～」に関連し、少女マンガについての評論、エッセイ、展示会図録などを展示します。多様な視点をヒントに、少女マンガの扉を開いてみませんか。



- ミニ展示「庭園の美」

【期間】平成27年11月6日(金)から平成28年1月6日(水)まで

【場所】人文・科学系資料・閲覧室(3階)

【内容】紅葉の季節となりました。都内各所の庭園では、季節を楽しむ様々なイベントが行われます。これに関連して、日本庭園の写真集など、庭園に関する資料を御紹介します。

都立中央図書館 【住所】港区南麻布5-7-13 【電話】03-3442-8451

【開館時間】月～金：午前10時～午後9時 土日祝休日：午前10時～午後5時30分

【最寄駅】東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分

【ホームページ】http://www.library.metro.tokyo.jp/guide/central_library/tabid/1404/Default.aspx

学校では、「朝礼の講話」や「関連する授業や道徳の授業の導入での話題提供やまとめの説話」、「学校だよりや学級だよりのコラム」、「学年集会や学校行事等での講話」、「学校ホームページでの公開」等、様々な教育活動で活用いただくことができます。

※本資料に対する御意見・御感想や、本資料の活用実践等がありましたら、以下担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきますと考えております。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6869

ファクシミリ 03-5388-1733